

## シンポジウム

# 朝鮮戦争から考える沖縄と東アジアの平和

## ～ 停戦協定を平和協定へ～

近時、日本政府によって「朝鮮半島有事」や「台湾有事」が喧伝され、これを口実に日本の軍事化が進んでいます。特に沖縄では、「北のミサイル発射に対処する」との名目で、十分な議論の無いままPAC3配備が配備されるなど、「北の脅威」や「中国の脅威」が煽られることにより、なし崩し的に米軍及び自衛隊の増強、日米軍事同盟の強化が進められています。このような動きは、沖縄の負担増加につながると同時に、朝鮮学校への高校授業料や幼児教育の無償化除外や、ヘイトスピーチをはじめとした、在日朝鮮人への差別と憎悪を煽ることにもつながっています。

しかし、そもそもなぜ朝鮮半島では、このような緊張が続いているのでしょうか。1950年から1953年まで、朝鮮半島で行われた戦争（朝鮮戦争）は未だ終結しておらず、「停戦」となったまま今日に至っています。日本の侵略と植民地支配の結果、朝鮮半島は民族が分断され、朝鮮戦争が終結されないまま今日に至っているという歴史から、改めて現在の「脅威」や「緊張」について考え直す必要はないでしょうか。

今年、朝鮮戦争停戦から70年、そして関東大震災での朝鮮人虐殺から100年という節目の年となります。常に戦争と隣り合わせの運命を強いられてきた、沖縄と朝鮮半島について、「朝鮮戦争停戦から70年」という視点から考えるためのシンポジウムを、下記のとおり開催いたします。

🕒 **23年9月30日(土)午後2時～4時**

📍 **那覇市ぶんかテンプス館 4階ホール**  
(那覇市牧志3-2-10)

🍷 **参加無料**

お申込みはこちらから  
(当日のご参加も可能です)



### パネリスト



乗松 聡子  
のりまつさとこ



高良 沙哉  
たからさちか



儀保 唯  
ぎほゆい

### 司会



白 充  
ぺくちゅん

主催：シンポジウム「朝鮮戦争から考える沖縄と東アジアの平和」実行委員会  
後援：沖縄タイムス社、琉球新報社 協力：日朝友好女性ネットワーク  
お問い合わせ：okinawanpeace@gmail.com

# 朝鮮戦争から考える沖縄と東アジアの平和

## ～ 停戦協定を平和協定へ～

### 乗松聡子（のりまつさとこ）

ピース・フィロソフィー・センター代表。『アジア太平洋ジャーナル：ジャパンフォーカス』エディター。「平和のための博物館国際ネットワーク」共同代表。103名の海外識者が辺野古基地建設反対を訴えた声明行動に対し、2018年、第二回『池宮城秀意記念賞』受賞。著書に『沖縄は孤立していない世界から沖縄への声、声、声。』（2018年、金曜日）など。

### 高良沙哉（たからさちか）

1979年 那覇生まれ 北九州市立大学大学院社会システム研究科修了（博士（学術））  
沖縄大学人文学部 教授 専門：ジェンダー、憲法学  
著書等：『慰安婦問題と戦時性暴力』法律文化社、「琉球/沖縄差別の根底にあるものは何か」  
『「沖縄問題」の本質』平和研究 54号（2020年5月）「安保関連3文書改定と沖縄」『法と民主主義』576号（2023年2月）

### 儀保 唯（ぎぼ ゆい）

弁護士。首里生まれ、やんばる育ち。  
2012年司法試験合格。広島で就職後、2017年沖縄に戻る。現在、岡野法律事務所名護支店支店長。市民や中小企業の法律問題を主に扱う。弁護団活動として、辺野古弁護団、高江弁護団、土地規制法対策沖縄弁護団。2019年朝鮮民主主義人民共和国への旅行経験あり。

### 白 充（ぺくちゅん）

弁護士。1985年福井県生まれ。2011年より沖縄在住。小学校から大学まで朝鮮学校に通う。在日朝鮮人三世。辺野古新基地阻止に向けた住民の抗告訴訟弁護団、普天間爆音訴訟弁護団に所属。福岡で行われていた九州朝鮮高校無償化訴訟の弁護団にも所属していた。

## カンパのお願い

カンパをお願いしております。お振込みは下記口座をお願いいたします。

ゆうちょ銀行からのお振込み

【記号】10140 【番号】85280681

【口座名】ジンドウシエンネットワーク

その他金融機関からのお振込み

【銀行名】ゆうちょ銀行

【店名】〇一八（ゼロイチハチ）

【店番】018 普通預金 【口座番号】8528068

【口座名】ジンドウシエンネットワーク

